学校番号	3010

令和8年度　　工業　　科

教科	工業	科目	工業技術基礎	単位数	3 単位	年次	1 年次
使用教科書	工業技術基礎(実教出版)						
副教材等	新しい建築の製図（学芸出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

工業技術や素材研究、造形活動に関する基礎的な知識と技術を、講義と実習を通して学びます。身近な素材(木材、ガラス、布等)に触れ、その素材がもの・かたちになるまでの工程を学びます。作品制作を通して、工具や工作機械を安全に正しく取り扱う技術を習得します。また、インテリアデザインに関わる設計製図の基礎を学び、住空間の考え方の概要を学ぶとともに、図面を読む力、書く力を身に付けます。実習を通して作品制作の基礎力と応用力を養います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

・工業における図面についての知識や道具の扱いについての知識を学ぶ。
・素材の特性を掴み、且つそれぞれの素材にあった加工の方法や技術について学ぶ。

【思考力、判断力、表現力等】

・ものづくり、造形活動の基本的な態度と技術を身に付けるにあたり、様々な造形素材に触れる。
・図面や図法に慣れることで、その経験を今後の制作活動に活かせるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

・工業に必要な姿勢を学び、協働の学びの大切さを知る。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・工業技術(デザイン分野)についてデザインのもつ社会的な意義と役割、人と技術との関わりを踏まえて理解するとともに関連する技術を身に付けている。 ・材料や加工方法を住生活や工業生産と関連付け様々な状況に対応できる技術を身に付けている。	工業技術(デザイン分野)に関する課題を発見し、デザインに携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決することができる。製図や設計図に関する課題を発見しつつ材料の性質が加工に及ぼす影響や適切な加工法を考察し，的確に説明することができる。	工業技術(デザイン分野)に関する課題を発見し、デザインに携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決することができる。インテリアデザイン分野における製図の作成及び図面から情報を読み取る力の向上をめざして自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	製図と木材加工技術①	・実習室の使い方と安全に関する講義 ・道具（工具）の扱い方 ・製図用紙と線の表し方 ・木造住宅図面の模写 ・木材に触れ特性を知る ・木材の加工法を学ぶ ・小家具制作とデザイン ・インテリアデザインに関する調査及び見学	a:道具（工具）の使い方を理解している。必要な基礎的な知識・技術を身に付け安全に作業を進めることができる。 b：製図や木材加工技術に関する工程を通して、適切な思考・判断を行い制作することができる。 c：主体的に課題に取り組むことができる。自主的・継続的な学習を通じ、ものづくりに関する探求・創造的な能力を身に付けようとしている。	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品レポート 発表 自己評価 相互評価 等	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品レポート 発表 自己評価 相互評価等	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品レポート 発表 自己評価 相互評価 等
2	製図と木材加工技術②	・住空間の考え方の概要 ・住空間図面の制作実習 ・木材の加工 （切削・組立・塗装） ・小家具制作 ・ガラス・テキスタイル等他の素材に触れる	a：道具（工具）の使い方を理解している。必要な基礎的な知識・技術を身に付け安全に作業を進めることができる。 b：製図や木材加工技術に関する工程を通して、適切な思考・判断を行い制作することができる。 c：主体的に課題に取り組むことができる。自主的・継続的な学習を通じ、ものづくりに関する探求・創造的な能力を身に付けようとしている。	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品レポート 発表 自己評価 相互評価 等	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品レポート 発表 自己評価 相互評価等	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品レポート 発表 自己評価 相互評価等
3	製図と木材加工技術③	住空間図面の制作実習 ・木材の加工と仕上げ （切削・組立・塗装） ・小家具制作と仕上げ ・作品の発表	a：道具（工具）の使い方を理解している。必要な基礎的な知識・技術を身に付け安全に作業を進めることができる。 b：製図や木材加工技術に関する工程を通して、適切な思考・判断を行い制作することができる。 c：主体的に課題に取り組むことができる。自主的・継続的な学習を通じ、ものづくりに関する探求・創造的な能力を身に付けようとしている。	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品レポート 発表 自己評価 相互評価 等	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品レポート 発表 自己評価 相互評価等	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品レポート 発表 自己評価 相互評価等

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度